

住宅

入居募集



入居資格
 《共通事項》
 ・ 雄武町内に住所を有する人または有することになる人。
 ・ 町税などに滞納がないこと。
●町営住宅(団地)
 ・ 所得が政令月収で一般世帯は15万8千円、裁量世帯は25万9千円を超えないこと。

●町営住宅

	団地名	間取り	建築年度	戸数	家賃	単身	
継続	旭日	3LDK	平成5~7・9~11年	9	21,000円~	53,600円	不可
	新日の出	1LDK	平成28年	1	16,600円~	38,100円	可
	宮下	3LDK	昭和59年	2	13,400円~	27,100円	不可
	潮見	3LDK	昭和61~63年	6	16,000円~	40,500円	不可
	魚田	3LDK	昭和55年	1	11,100円~	22,500円	可
	幌内	3LDK	昭和51年	1	7,800円~	17,500円	可

●日の出仲町町有住宅

継続	間取り	建築年度
	3LDK	昭和61年
戸数	家賃	単身
1	40,000円	可

●サンライズビレッジ

新規	間取り	建築年度
	1LDK	平成6年
戸数	家賃	単身
1	30,000円	専用

●潮見町有住宅

新規	間取り	建築年度	
	3LDK	昭和56年	
戸数	家賃	単身	
1	17,900円~	35,800円	可

●サンライズビレッジ

継続	間取り	建築年度
	1LDK	平成5・6年
戸数	家賃	単身
2	30,000円	専用

●すもっとうむ

新規	間取り	建築年度
	1K	令和4年
戸数	家賃	単身
6	34,000円	専用

※政令月収とは、給与所得者は1年間の給与所得控除後の金額に、自営業者は1年間の事業所得から必要経費を控除した金額に、扶養控除などを差し引いた額を12で除したものです。
 ※裁量世帯とは、高齢者世帯(60歳以上)、高齢者と18歳未満の世帯、障がい者(障がいの程度による)

●町有住宅・勤労者住宅
 ・ 満35歳未満の独身勤労者であること
 ・ 町有住宅と勤労者住宅は入居の要件が異なりますので、管財係まで

応募締切
 新規 10月14日(金)
 継続 随時受付
 ※問い合わせ時に募集を終了している場合があります。
問税財管理課管財係

申込方法
 ・ 役場備え付けの申込用紙に入居する人の住民票を添えて提出してください。
 ・ 令和4年1月1日に他市町村において住民登録されていた人は当該市町村で発行される市町村民税課税証明書、所得証明書などの直近1年分の所得が分かるものと、納税証明書も合わせて提出してください。
 ・ 町営住宅に申し込みの際は、マイナンバーのわかるものを持参してください。
選考方法
 ・ 申込者多数のときは、住宅困窮度の高い人から入居決定し、困窮度が同じ場合は抽選とします。
 ・ 最新の住宅情報は、ホームページで公開しています。申込用紙もダウンロードできます。
<https://www.town.ounu.hokkaido.jp/>
 ※住宅使用料のお支払いは、安心便利な口座振替が利用できます。

町長コラム



雄武町長
石井友藏

9月、野山の木々の葉も淡い色に色づき始め、秋を感じる季節となりました。

私の菜園では、玉ねぎの収穫が行われており、遊びに来た子どもたちの「大きいのが採れた!」と感動している姿は、これらの体験を通して子どもの心が育っていくを感じさせてくれます。

9月9日、私の家(牧場)に家族が増えました。ポニーです。

この日は母馬の出産予定日で、夜に様子を見に行くと、生まれて間もない仔馬を見つけビックリ!なんて可愛らしいこと!馬の出産は難しく心配していましたが、自然分娩で生まれていました。また、母馬はしきりに仔馬を舐めており、母の強い愛情を感じる光景でした。

名前については、以前に牧場を訪れ、出産を楽しみにしていたご家族がいましたので、名付け親をお願いしました。そして、子どもたちが「あかりちゃん」と名付けてくれました。

このご家族は、冬休みにも雄武町への旅行を予定しており、その際は、また新しい感動と夢を与えられそうです。

今後も多くの人たちと体験を通して、交流の輪を広げていきたいと考えております。

追伸. あかりちゃんは元気に走りまわっています。



あかりちゃん

Activity Report

地域おこし協力隊 ~活動レポート~



地域おこし協力隊
観光支援員
タオさん

毎年、雄武高校は見学旅行で雄武町のPRをするチラシを手作りして配布する活動をしています。PRチラシ作成のお手伝いとして9月7日、2年生の総合的な探究の時間に観光協会が訪問し、iPadの無料アプリを使ったチラシやCMの作成について講習を行いました。1時間目は、初めてアプリを使う生徒も多いので、初心者向けのアプリ操作の動画を見せ、題材を決めるために雄武町の風景・イベントなどの動画を流し、作成に必要なポイントを説明しました。
 2時間目は、アプリの基本機能を理解できるようにアプリの作成をしながら実際に作成をしながら、最後にできた作品を発表しあってもらいました。
 アプリを初めて使うので簡単なデ



生徒からは「ふるさと納税のウニ部門で全国1位なのは、まったく知らなかったのすごく驚いた」「自分の作ったチラシを見てもらったときに、文字のフォントや配置などについてアドバイスももらい、よりよいチラシにできた」などの感想を聞かせてもらいました。
 私たちがよく見ている雄武町の景色ですが、道外の人にとっては魅力がある風景かもしれません。生徒たちのセンスと創造力によって作られたチラシ・CMが多くの人々の目にとまることを期待しています。見学旅行で雄武町のことを多くの人にPRして、興味を持ってもらえるといいですね。
 なお、完成した作品は10月以降に道の駅おつむでも展示予定です。
 余談ですが、PR活動というところ、2022年の「おつむを写そう」フォトコンテストが9月30日に受付終了となりました。今年はSNSで応募する人が増えてきて、初めて応募する人もいます。これから一般投票と審査を行い、10月の下旬に結果を発表する予定です。今年はどういう作品がグランプリに輝くのか楽しみです。
 ※地域おこし協力隊がこのコーナーを順番に担当しています。お楽しみに。